

HORIBA, Ltd.

Financial Information 日本語資料

August, 2017

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

※本プレゼンテーションにおける2015年の実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値を記載しております。

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知ください。

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

2017年上期の振り返り

外部 環境

- ◆ トランプ政権発足
- ◆ 英国EU離脱通告→英國総選挙
- ◆ フランス大統領選挙→日欧EPA大枠合意
- ◆ 半導体業界活況
- ◆ 自動運転、電動化、排ガス規制

内部 状況

- ◆ 新拠点・設備開設(米国、英国、韓国)
- ◆ 上場来高値更新、時価総額3,000億円突破
- ◆ 働き方改革

2017年12月期 上期決算概要

上期過去最高の売上高、営業利益、当期純利益を更新

P&L

- ◆自動車と半導体セグメントが前年同期比增收増益を達成

B/S

- ◆総資産は設備投資により+40億円の2,436億円
- ◆借入金は金融子会社設立(米・英)により▲49億円の267億円
- ◆自己資本比率は56.7%

CF

- ◆利益計上などにより、営業CF: +162億円
 - ◆設備投資などにより、投資CF: ▲68億円
 - ◆短期借入金の返済などにより、財務CF: ▲71億円
- } フリーCF: +94億円

2017年12月期 上期連結実績

(単位:億円)

| | 2016年上期 実績 | 前回予想 (5/12) | 2017年上期 実績 | vs前年同期 | vs前回予想 (5/12) |
|----------------------|---------------|----------------|---------------|--------|------------------|
| ★: 過去最高 | | | | | |
| 売上高 | 799 | 875 | ★ 873 | +73 | ▲ 1 |
| 営業利益 | 77 | 100 | ★ 97 | +19 | ▲ 2 |
| 営業利益率 | 9.7% | 11.4% | 11.1% | +1.4p | ▲0.3p |
| 経常利益 | 75 | 97 | ★ 95 | +19 | ▲ 1 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 41 | 61 | ★ 64 | +23 | +3 |
| USドル(円) | 111.70 | 110.00 | 112.34 | +0.64 | +2.34 |
| ユーロ(円) | 124.52 | 120.00 | 121.66 | ▲ 2.86 | +1.66 |

2017年12月期 上期連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

| | 売上高 | | | | 営業利益 | | | | | |
|---------|-------------|----------------|------|----------------|--------------------|---------|----------------|-----|----------------|--------------------------|
| | 2016年 上期 | 2017年上期 | | | 2016年 上期 | 2017年上期 | | | | |
| ★: 過去最高 | 実績 | 前回予想 (5/12) | 実績 | VS 前年 同期 | 前回 予想 (5/12) | 実績 | 前回予想 (5/12) | 実績 | VS 前年 同期 | VS 前回 予想 (5/12) |
| 自動車 | 281 | 320 | ★306 | +24 | ▲ 13 | 5 | 22 | 21 | +16 | ▲ 0 |
| 環境 | 77 | 80 | 80 | +2 | +0 | 8 | 4 | 3 | ▲ 5 | ▲ 0 |
| 医用 | 138 | 120 | 123 | ▲ 14 | +3 | 15 | 10 | 8 | ▲ 7 | ▲ 1 |
| 半導体 | 178 | 240 | ★247 | +68 | +7 | 44 | 65 | ★67 | +23 | +2 |
| 科学 | 123 | 115 | 115 | ▲ 8 | +0 | 2 | ▲ 1 | ▲ 4 | ▲ 7 | ▲ 3 |
| 合計 | 799 | 875 | ★873 | +73 | ▲ 1 | 77 | 100 | ★97 | +19 | ▲ 2 |

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

2017年市場環境の想定

自動車



欧洲、日本での排ガス規制強化により、
国内外自動車メーカー、部品メーカーの投資意欲は旺盛

環境



中国での環境規制強化
半導体工場増設で水処理設備もチャンス拡大

医用



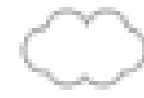
国内：開業医市場の需要は堅調
海外：欧洲や南米での需要減少

半導体



半導体メーカーの設備投資は堅調に推移
3D-NAND需要増加に伴うエッチング装置の需要増加

科学



先進国での研究関連の予算減少
光学部品の民間需要は堅調

2017年想定為替レート

(単位:円)

| 2016年 上期 | | 2017年 | | | | | 下期 予想 |
|-------------|----------------|-------|--------|--------|--------|------|----------|
| 実績 | 実績 | | | | | 今回予想 | |
| | 前回予想 (5/12) | 1Q | 2Q | 上期 | | | |
| USドル | 111.70 | 110 | 113.60 | 111.08 | 112.34 | 110 | 107 |
| ユーロ | 124.52 | 120 | 121.05 | 122.27 | 121.66 | 120 | 118 |

2017年:1円円高による営業減益額(通期)

| | |
|------|-----------|
| USドル | 1億6,200万円 |
| ユーロ | 2,800万円 |

2017年12月期 通期業績予想

(単位:億円)

| | 2016年 | 2017年 | vs前回予想 (5/12) |
|---------------------|-------|----------------|------------------|
| ★: 過去最高 | 実績 | 前回予想 (5/12) | 今回予想 |
| 売上高 | 1,700 | 1,830 | ★ 1,870 +40 |
| 営業利益 | 184 | 210 | ★ 220 +10 |
| 営業利益率 | 10.9% | 11.5% | 11.8% +0.3p |
| 経常利益 | 182 | 203 | ★ 213 +10 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 129 | 136 | ★ 145 +9 |
| 一株利益(円) | 308 | 322 | 344 +21 |
| ROE | 10.0% | 9.9% | 10.5% +0.5% |

2017年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

| ★: 過去最高 | 売上高 | | | 営業利益 | | | | |
|---------|-------------|-------------------------|---------------|----------------------|-------------|-------------------------|---------------|----------------------|
| | 2016年 実績 | 2017年 前回予想 (5/12) | 2017年 今回予想 | vs 前回予想 (5/12) | 2016年 実績 | 2017年 前回予想 (5/12) | 2017年 今回予想 | vs 前回予想 (5/12) |
| 自動車 | 622 | 690 | ★710 | +20 | 35 | 52 | 57 | +5 |
| 環境 | 167 | 180 | ★180 | 変更なし | 15 | 11 | 11 | 変更なし |
| 医用 | 265 | 250 | 250 | 変更なし | 28 | 22 | 17 | ▲ 5 |
| 半導体 | 388 | 460 | ★480 | +20 | 96 | 120 | ★130 | +10 |
| 科学 | 257 | 250 | 250 | 変更なし | 9 | 5 | 5 | 変更なし |
| 合計 | 1,700 | 1,830 | ★1,870 | +40 | 184 | 210 | ★220 | +10 |

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

自動車 2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

2017年上期実績

- + **排ガス** 全世界での規制対応により販売増加
- + **MCT** 自動車メーカーの設備投資回復による販売増加
- **ECT** MIRA日本チーム設立による費用増加

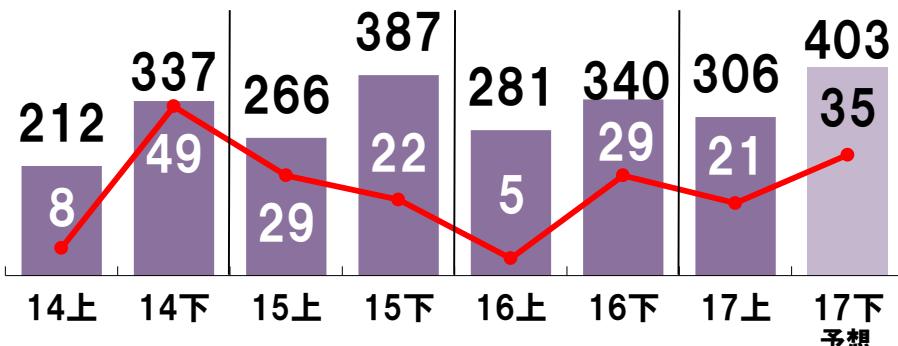
| | 2017年上期 売上高実績(前年実績) |
|-----|------------------------|
| 排ガス | 198 (183) |
| MCT | 63 (50) |
| ITS | 8 (7) |
| ECT | 36 (39) |

2017年通期予想

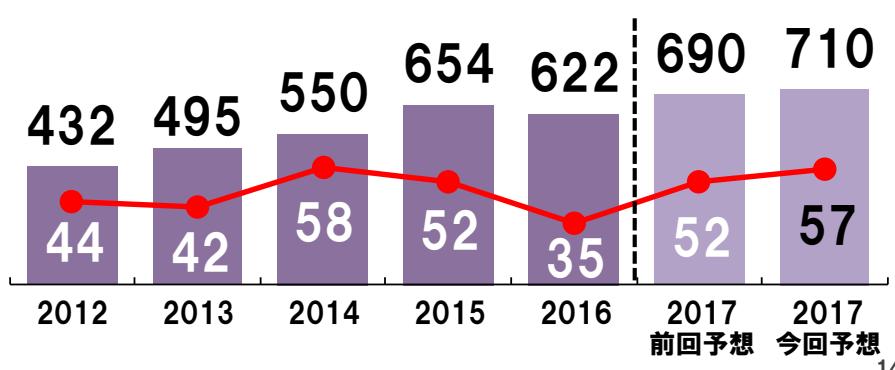
- + **排ガス** 規制対応需要が継続
- + **MCT** 受注案件の確実なデリバリーを実現し、增收
- **ECT** 積極投資による受注拡大も、収益効果は翌年以降

| | 2017年通期 売上高予想(前年実績) |
|-----|------------------------|
| 排ガス | 440 (401) |
| MCT | 180 (132) |
| ITS | 20 (16) |
| ECT | 70 (71) |

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



自動車 次世代排ガス規制への対応

(単位:億円)

排ガスビジネス:次世代排ガス規制への取り組み

WLTP^{※1}(国連提唱の世界統一排ガス試験法) <売上高・受注残推移>

→ EUで2017年9月開始、
日本では2018年10月開始予定

RDE規制^{※2}(実路排ガス規制)

→ WLTPと同じくEUで2017年9月開始、
日本では2022年開始予定

※1 Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure

※2 Real Driving Emission



先進的排ガス試験設備(Advanced Emissions Test Centre : AETC)開設

稼働日:2017年7月5日

場 所:英国・ホリバMIRA社敷地内

機 能:最新排ガス試験設備

- 室内での実路走行再現
- 温度変化や高地シミュレーション

狙 い:RDE規制に関するビジネス強化



自動車 電動化・自動運転技術開発への貢献

(単位:億円)

MCTビジネス:電動化への対応

2017年は販売増により収益性改善

- 自動車メーカーの設備投資回復
- ターンキービジネス^{*}拡大で受注確保

^{*}エンジン排ガス測定装置と自動車試験装置を融合させた
総合提案型のビジネスモデル

<売上高・受注残推移>



HORIBAのビジネス領域

- 駆動系・電気モーターなどの単体システムから
実車評価までカバーする柔軟なシステムを提供

電気モーター試験設備



電気自動車の試験



➡ ホリバMIRA社でのバッテリー制御システムの
評価設備拡充など、ビジネス領域を拡大

ECTビジネス:ホリバMIRA社、自動運転試験場の設計に参画

- ハンガリー政府が建設する自動運転試験場(同国初)
の設計を、現地企業と連携
- 自動運転技術の開発支援領域での地位確立

調印式の様子



自動運転技術



環境

2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

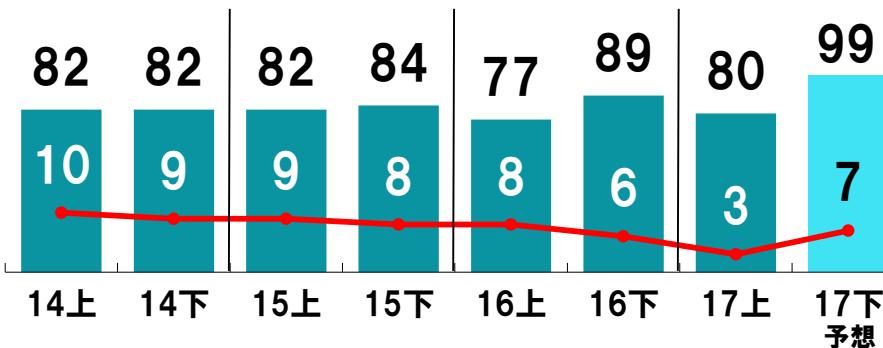
2017年上期実績

- + 煙道排ガス分析装置は、国内:リプレース需要堅調、中国:VOC規制で販売堅調
- + - 国内水質計測装置の需要堅調も、販売は想定より伸びず

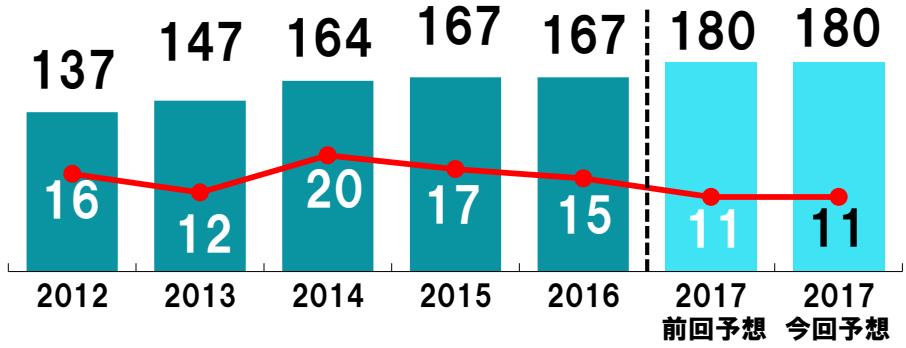
2017年通期予想

- + 煙道排ガス分析装置 → 国内でのリプレース需要の確実な取り込み
- + 中国のVOC規制 → さらなる需要拡大に期待
- + - 北米のプロセス計測設備ビジネスは引き合い活発だが、販売低調

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



環境 グローバルでのビジネス強化

プロセス計測設備ビジネスへの投資 :ヒューストン新工場完成

稼働日:2017年4月1日

場 所:米国テキサス州ヒューストン

機 能:環境計測機器・プロセス計測設備の生産

科学・医用関連のサンプル試験

狙 い:生産能力強化によるビジネス拡大

外観



アナライザーハウス^{*}



*分析計、サンプリング装置を組み込んだシェルター。各プロセスにおける計測機器をシステム化し、お客様に一括で提供

水質計測ビジネスの拡大

アンモニア態窒素計「HC-200NH」

- 東京都下水道局との共同研究を経て2016年発売
- アンモニア態窒素濃度の常時計測により、下水処理電力削減に貢献



海外の大規模下水処理場へビジネス拡大

2017年1月より水計測リソースを堀場アドバンスドテクノに集約

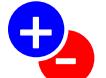
- 開発・生産のスピードアップ
 - ➡ 新製品投入の加速
- マーケティング機能の強化
 - ➡ 半導体メーカーへの環境製品アプローチ

医用

2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

2017年上期実績



日本での自動血球計数CRP測定装置の販促強化による費用増加

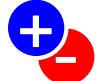


欧州・南米での販売減、フランスからの新製品投入も効果は2018年以降

2017年通期予想

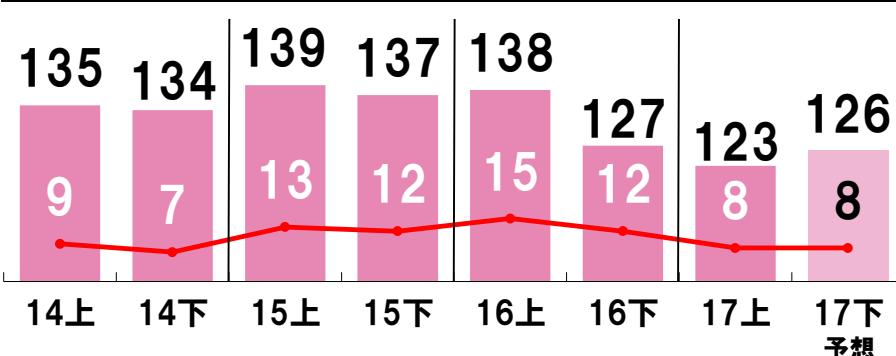


日本での自動血球計数CRP測定装置の競争激化

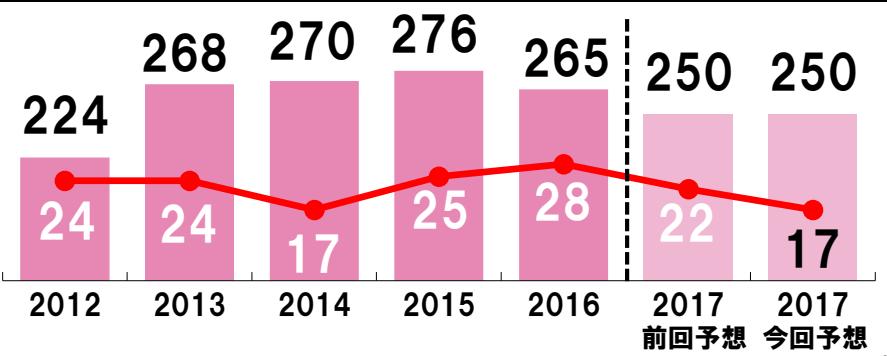


新製品投入による米国FDA承認取得費用、販売促進費用の増加

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



医用 ビジネス拡大に向けての新製品投入

中・大型血球計数分野での新製品投入と“HELO Solution”の展開

◆ 新製品の強み

- 診療データ管理システムを含めたトータルソリューションを提案
- 柔軟なレイアウト対応

◆ 製品展開スケジュール

- 2017年2Qからグローバル展開
- ブラジル、英、仏で据付開始

HELO Solution
(2017年発売)



ブラジルでの顧客ラボ
据付完成予定図



新興国向け新製品 “Yumizen H550”

◆ 新製品の強み

- 自動装填装置付小型血球計数装置
- 様々な環境でも安定した精度の高い測定

◆ 製品展開を支える販売・生産基盤

- HORIBAのグローバルネットワークを活用
- 大量消費地での試薬(消耗品)の現地生産

Yumizen
H500



Yumizen H500
(2016年発売)

Yumizen
H550



新製品 Yumizen H550
(2017年発売)

半導体 2017年上期実績/2017年通期予想

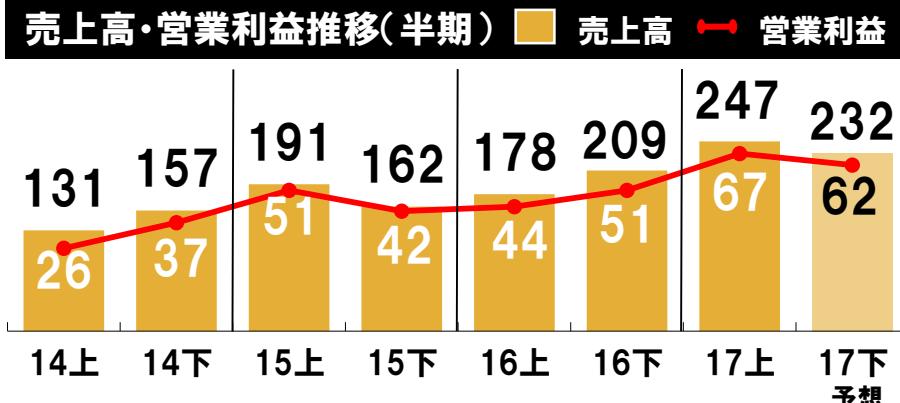
(単位:億円)

2017年上期実績

- + 売上高・営業利益ともに過去最高
 - アジアでの半導体投資増加
 - 3D-NANDプロセスでのエッチャーリquir需要増加
- + マスフローコントローラー(MFC)の生産量は過去最高水準

2017年通期予想

- + 半導体メーカーの設備投資需要は堅調
- + 引き続き高水準なMFCの生産量

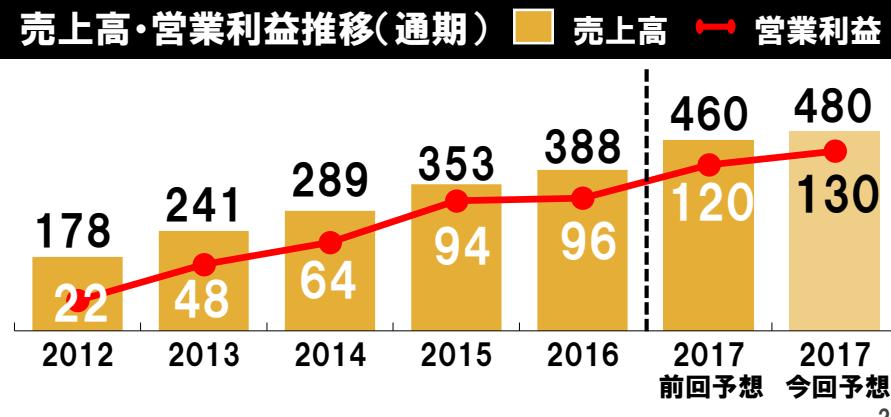


半導体市況及びMFC関連市場トピックス

- データセンターのメモリー移行
⇒半導体需要の大幅増加
- 半導体製造技術の変化
(微細化、3D-NAND、多層化)
⇒エッティング需要の拡大

HORIBAの強み

- 高精度なMFCを安定供給できる
- ビジネスポートフォリオ



半導体 さらなる安定供給の実現

生産拠点への投資(阿蘇・韓国)

◆ 堀場エステック阿蘇工場増設

金額 : 約27億円 / 完成 : 2017年12月(予定)

狙い : MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)



堀場エステック阿蘇工場工事状況

◆ 堀場エステック・コリア社 新社屋開設

稼働日: 2017年4月1日 / 場所: 韓国ヨンイン市(ソウル郊外)

狙い: 生産能力強化、エンジニア増員、教育施設の増強



堀場エステック・コリア社新社屋

半導体市場の動向

半導体メーカーの
投資コントロール

シリコンサイクル縮小

市場安定化へ

品質精度向上に向けた取り組み

◆ ガス校正に関するISO/IEC 17025※認定取得

- 堀場エステック京都福知山テクノロジーセンター
- 校正するための測定システムを自社開発
- = より高精度なMFCの安定供給へ



※ISO/IEC 17025…品質面における運営システムの要求事項+試験・校正実施に必要な技術管理の要求事項

◆ 半導体デバイスメーカーと次世代半導体プロセスにおける材料開発

堀場エステック
京都福知山テクノロジーセンター

科学

2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

2017年上期実績

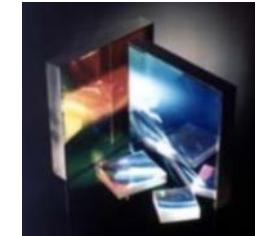
- + 米、欧にて分光分析装置のコア部品の販売が好調
- 日、米、欧にて大学向け製品販売が低調 ⇔ + 中国向け好調
- +/- 新製品投入に向けて開発費用増加

2017年通期予想

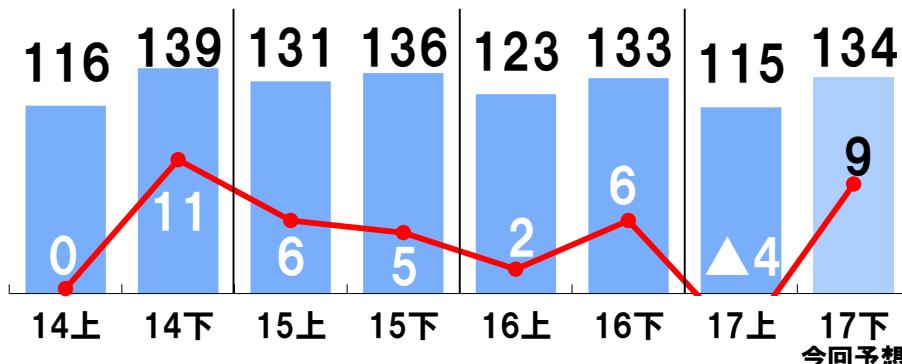
- + 分光分析装置のコア部品販売は堅調に推移
- 日、米、欧にて大学向け製品の需要低調
- + お客様のニーズに合わせた製品カスタマイズによる新規市場開拓

グレーティング(回折格子)

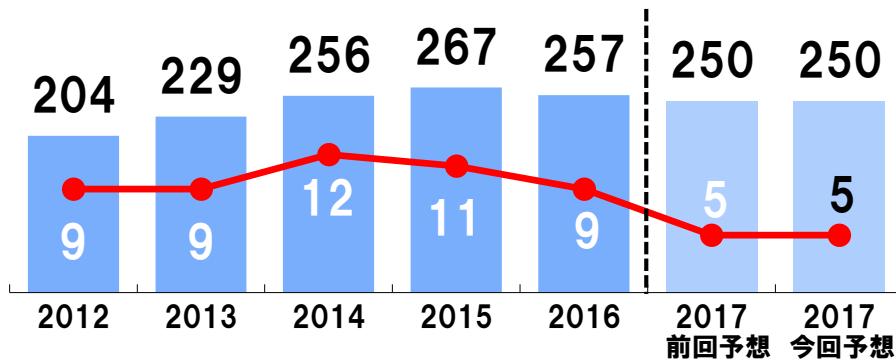
- ・分光分析装置のコア部品
- ・世界トップレベルの技術



売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



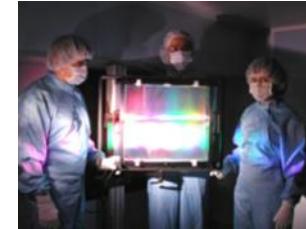
売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▶ 営業利益



科学 HORIBAの技術を支える科学セグメント

フランス発のコア技術 「グレーティング(回折格子)」

- ◆ 高強度レーザー向け特殊グレーティングの需要増
- ◆ 半導体製造装置メーカー向け
グレーティングを組み入れた分光器の需要増



特殊グレーティング



分光器

ホリバ・フランス社(旧ホリバ・ジョバンイボン社)

- ◆ グレーティングの量産技術を確立した分光分析装置の老舗メーカー
 - 1819年 創立 (2019年 創立200周年)
 - 1997年 HORIBAグループの一員に (統合20周年)



ホリバ・フランス社
ヨーロッパ・リサーチセンター(仏)

レーザー回折/散乱式粒子径分布測定装置が第9回レーザー学会産業賞「優秀賞」を受賞

- ◆ 国内産業の発展に貢献するレーザーに関する製品・技術が受賞
 - 粒子にレーザー光を照射し、粒子サイズを求める装置
 - 電子部品・電池・食品・研磨剤・薬品など様々な分野の
粉体の開発や品質向上のために使用



粒子径分布測定装置



説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **株主還元**
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

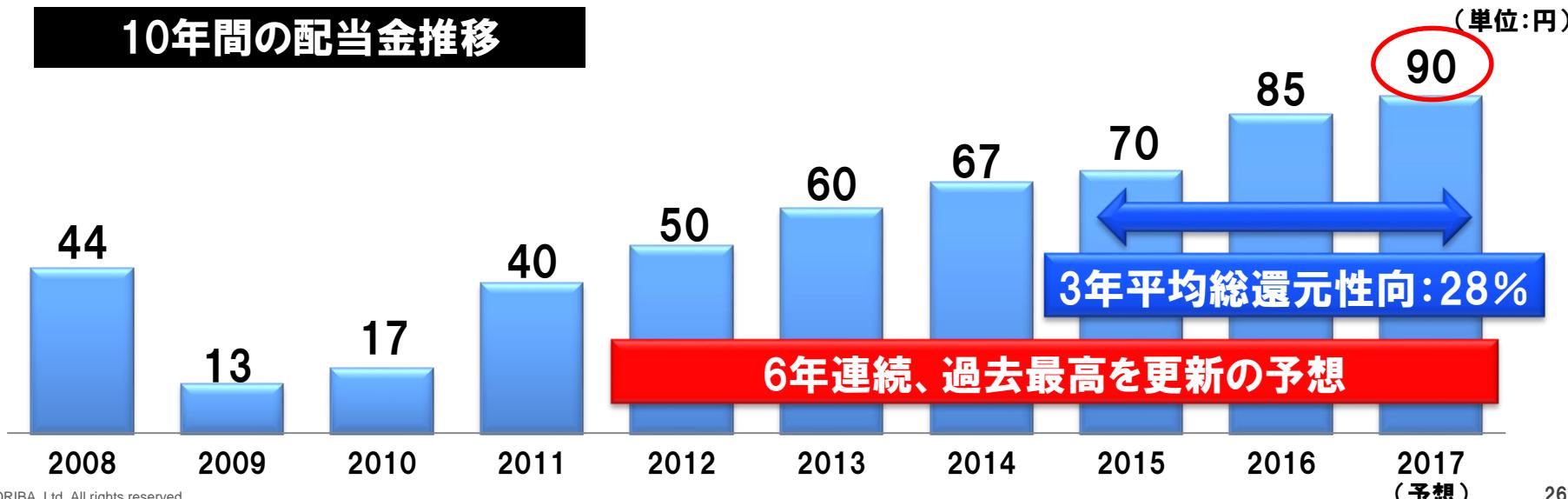
配当金及び自己株式の取得

2015年実績 70円 [中間 28円、期末 42円] +自己株式取得(9.9億円)

2016年実績 85円 [中間 30円、期末 55円]

2017年予想 90円 [中間 40円、期末 50円](前回予想から変更なし)

10年間の配当金推移



説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

働き方改革の実現に向けて

ステンドグラス・プロジェクトの取組み

STEP1
2014年

- 「女性活躍推進」からスタート

STEP2
2015年～

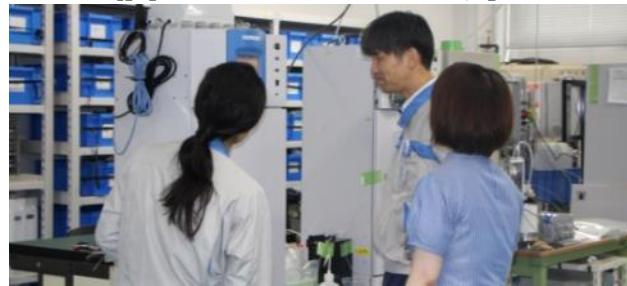
- 「働き方改革」ワークショップ開始
- テーマ「一人ひとりの行動変化」

STEP3
2016年～

- 経営・人事・現場をつなぐステンドグラス
- 現場・組織毎の特徴を生かす

カエル会議(2017年5月～)

- 111名・18チームが参加
- テーマ「業務の効率化」「個人のスキルアップ」
- 70個のアイデアが登録



健康経営優良法人2017に認定

優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度
(経済産業省が認定制度を設計し、日本健康会議が制度運営)

HORIBA
評価ポイント

経営トップによる「“こころとからだの健康づくり”宣言」
組織横断的プロジェクトや担当部署が独創的な企画



HORIBAステンドグラス・プロジェクト

～多様な人財が輝き、強いHORIBAを実現する～

<ゴールイメージ>



1. 多様性でHORIBAの企業競争力を向上する

- 性別・世代・グループ・国籍・雇用形態・障がいなどを越えた多様性を力とし、全員が意識の壁に気付き、挑戦することでイノベーションを促進する



2. 次世代リーダーや多様な働き方のロールモデルを創出する

- 成功事例の発掘および創出を支援し、社内外へ周知する



3. 組織と個々の付加価値と時間当たり生産性向上を実現する

- 働き方の抜本的改革による、ワークライフバランスの実現で個々の付加価値を向上する

<プロジェクト体制>

- プロジェクトオーナー：代表取締役副社長
- アドバイザー：HORIBA初の女性理事
- プロジェクトリーダー：活動の提案者・女性管理職
- 活動メンバー：グループ会社から多様な人財で構成

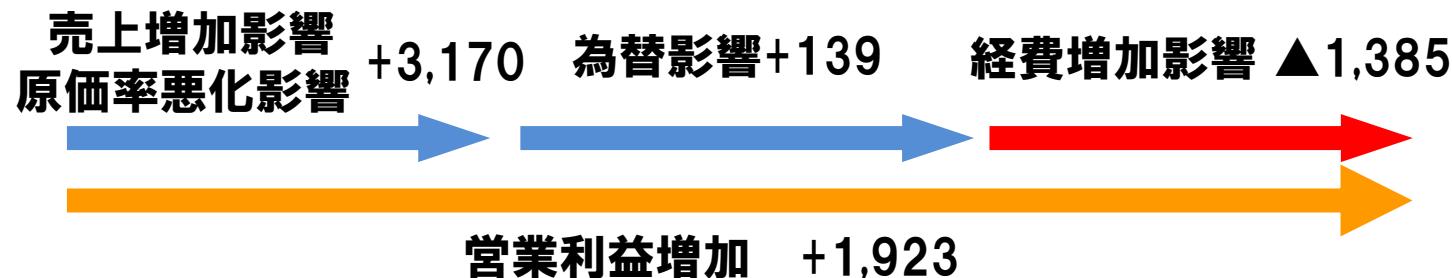
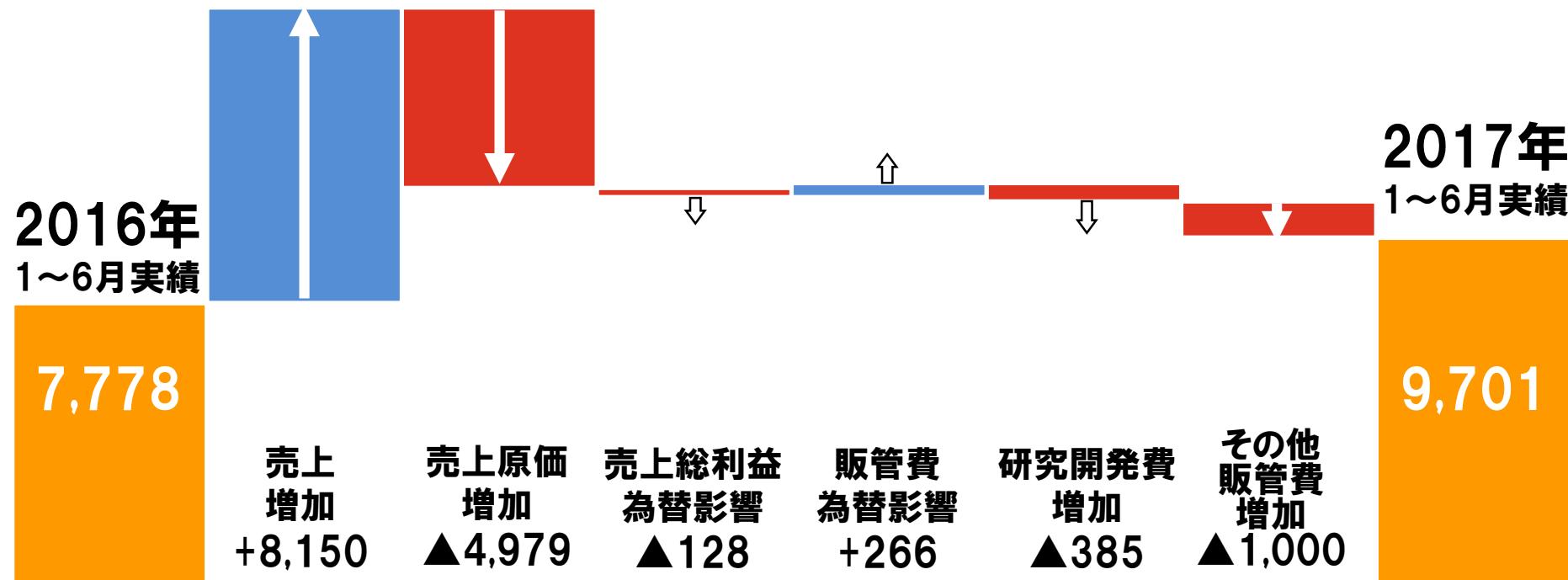


説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

営業利益分析(前年同期比較)

(単位:百万円)



為替の影響額

為替感応度(2017年予想)

1円円高による 売上高/営業利益の影響額

売上高

USドル ▲448百万円
 ユーロ ▲331百万円
 ポンド ▲88百万円

営業利益

USドル ▲162百万円
 ユーロ ▲28百万円
 ポンド ▲4百万円

2017年上期実績為替影響額

| (百万円) | 売上高 | | | 営業利益 | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|------|-----|-----|-------|
| | 合計 | USD | ユーロ | ポンド | 合計 | USD | ユーロ | ポンド |
| 自動車 | ▲ 649 | +24 | ▲ 129 | ▲ 552 | +96 | +3 | +8 | +86 |
| 環境 | ▲ 24 | +7 | ▲ 18 | ▲ 11 | ▲ 35 | +0 | ▲ 7 | ▲ 22 |
| 医用 | ▲ 120 | +14 | ▲ 113 | ▲ 22 | ▲ 6 | +0 | +9 | ▲ 15 |
| 半導体 | +61 | +65 | ▲ 5 | ▲ 101 | +50 | +54 | ▲ 2 | ▲ 102 |
| 科学 | ▲ 74 | +24 | ▲ 81 | ▲ 25 | +34 | +2 | +0 | +19 |
| 合計 | ▲ 806 | +134 | ▲ 346 | ▲ 711 | +139 | +59 | +9 | ▲ 35 |

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

| | 2016年上期 | 2017年上期 | 増減額 |
|------------------|---------|---------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,987 | 16,274 | +10,287 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 5,071 | ▲ 6,804 | ▲ 1,732 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 59 | ▲ 7,104 | ▲ 7,164 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 47,719 | 54,174 | +6,454 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 915 | 9,470 | +8,555 |

設備投資額・減価償却費・研究開発費

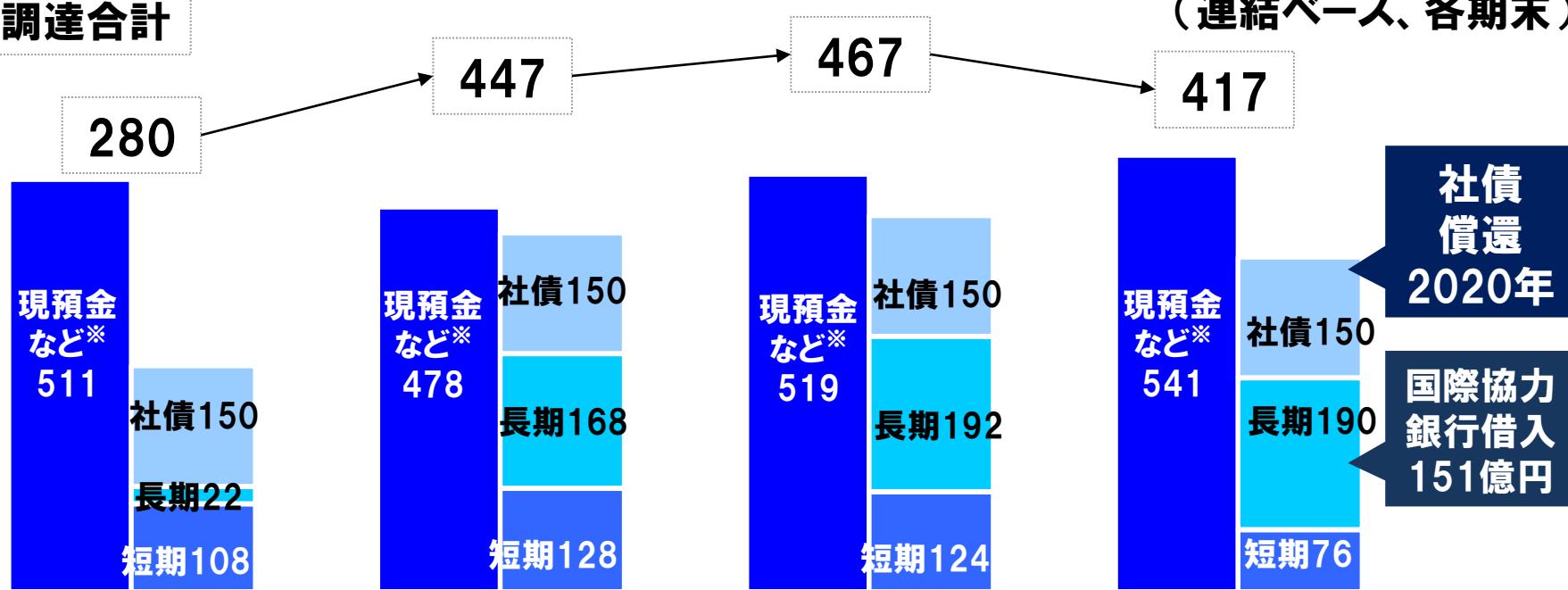
(単位:億円)

| | 2016年 | 2017年通期予想 | | | 2016年 上期実績 | 2017年 上期実績 |
|---------|-------|----------------|------|----------------------|---------------|---------------|
| | 通期実績 | 前回予想 (5/12) | 今回予想 | vs 前回予想 (5/12) | | |
| 有形固定資産 | 134 | 146 | 146 | - | 56 | 53 |
| 無形固定資産 | 3 | 4 | 4 | - | 2 | 1 |
| 設備投資合計 | 137 | 150 | 150 | - | 58 | 55 |
| 減価償却費 | 68 | 72 | 72 | - | 32 | 36 |
| 研究開発費 | 129 | 140 | 140 | - | 63 | 66 |
| (対売上高比) | 7.6% | 7.7% | 7.4% | ▲0.3p | 7.9% | 7.5% |

資金の状況

(単位:億円)

外部調達合計



2014年

254%

60%

2015年

242%

55%

2016年

237%

55%

2017年6月末

243%

56%

流動比率

自己資本比率

- ・グループ内貸付による外部借入金削減

- ・直近の格付け:R&I「A-」(2017年7月)、JCR「A」(2017年8月)

※現預金など…現金及び現金同等物の期末残高

35

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

会社概要

- 本社 京都市
- 創業 1945年
- 設立 1953年
- 代表者 堀場 厚(代表取締役会長兼社長)
- 決算日 12月31日

堀場 厚
代表取締役会長兼社長



- 社是 -

JOY and FUN

To have interest and pride
in our work to enjoy our lives

おもい
がい

A large, expressive calligraphic brushstroke in black ink on a white background, reading "おもいがい" (interest and pride).

事業セグメント

自動車計測システム機器



- ・エンジン排ガス計測システム
- ・自動車試験システム
- ・自動車テレマティクス
- ・車両開発エンジニアリング(ホリバMIRA社)

環境・プロセスシステム機器



- ・大気測定、排ガス測定、水質測定機器
- ・環境放射線測定器
- ・環境規制市場とプロセス市場に対応

医用システム機器



- ・充実の体外検査システム
- ・ホリバABX社の技術とマーケティングノウハウ

半導体システム機器



- ・マスフローコントローラー
- ・薬液濃度モニター
- ・堀場製作所、堀場エステック社、堀場アドバンスドテクノ、ホリバ・ジョバンイボン社の技術連携

科学システム機器



- ・粒子径分布測定、蛍光X線分析、元素分析装置
- ・ラマン分光、蛍光分光をはじめとする分光分析機器
- ・堀場製作所とホリバ・ジョバンイボン社の技術連携

事業セグメント

自動車計測システム機器



売上高 1,700 億円

()= 売上高構成比率

環境・プロセスシステム機器



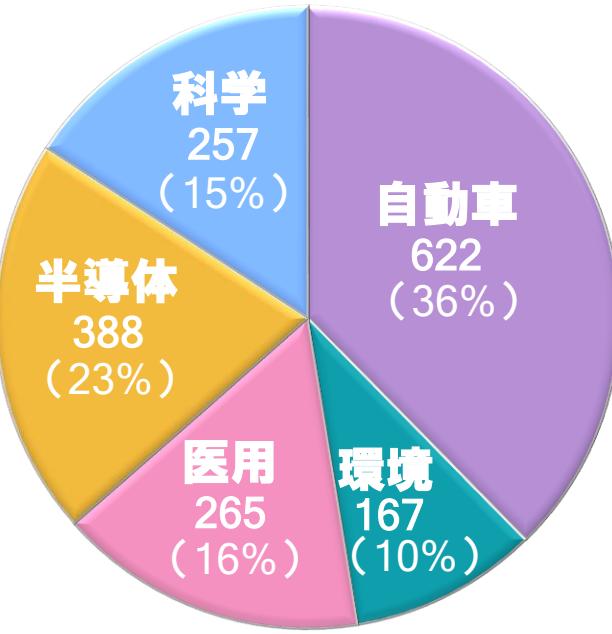
医用システム機器



半導体システム機器



科学システム機器

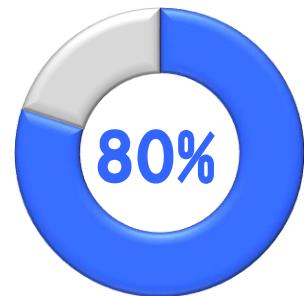


事業セグメント別売上高(億円)

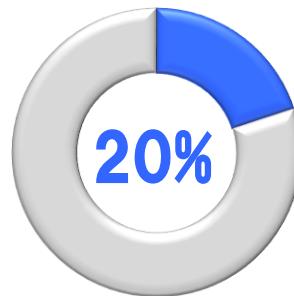
2016年度

世界市場シェア

エンジン排ガス計測システム

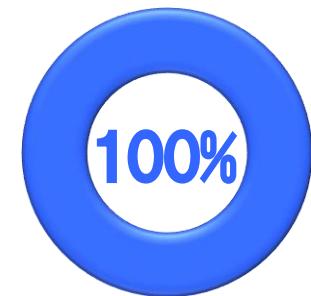


煙道排ガス分析装置



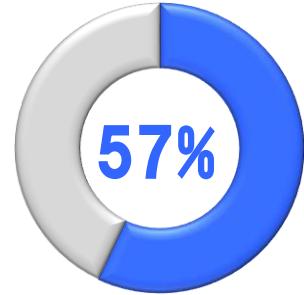
<国内シェア>

血球計数CRP計測装置

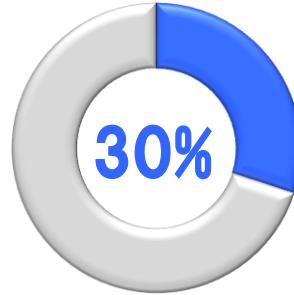


※2015年末調査時点

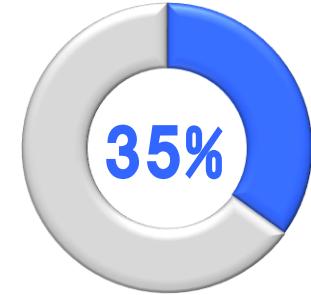
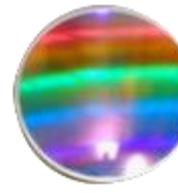
マスフローコントローラー



ラマン分光測定装置



グレーティング

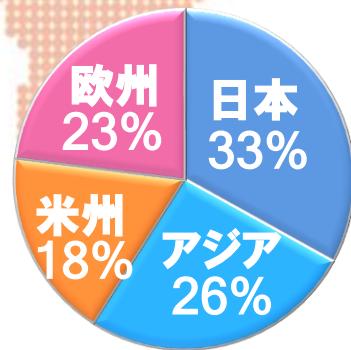


※各製品のマーケットシェアは当社推定値

グローバルネットワーク売上高

(2016年度)
売上高:1,700億円

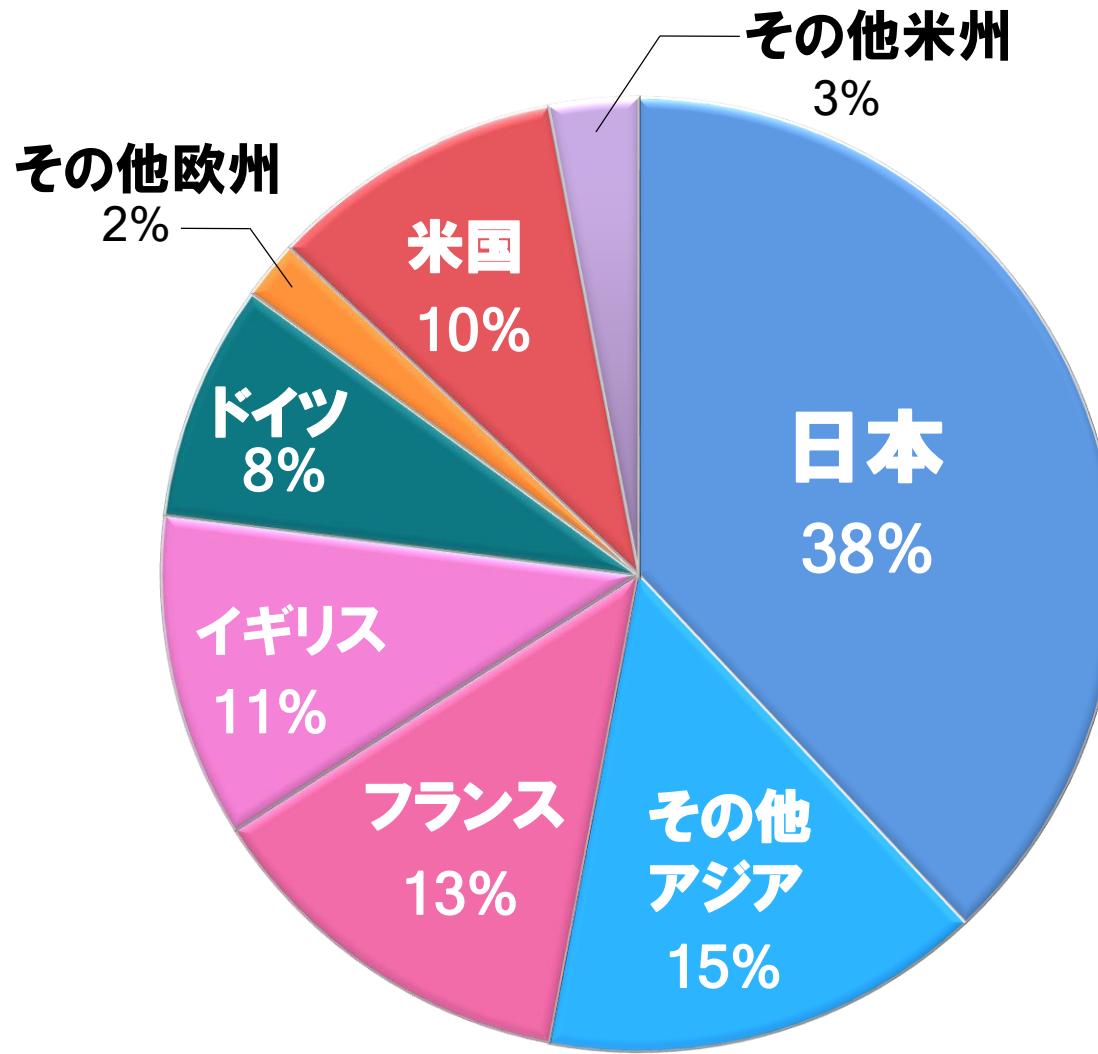
地域別2016年売上高比率



地域別グループ会社数 (2016年12月31日)

| | |
|-----|--------------------|
| 米州 | 9 |
| 欧州 | 23 |
| アジア | 17 * 日本4社(堀場製作所含む) |
| 計 | 49 |

地域別従業員比



ご清聴ありがとうございました。